

気象研究ノート 145号「衛星資料の利用」(1982年12月)

目次

第1章 気象学への利用

- 第1節 衛星観測資料による放射気候学……………会田 勝
 第2節 数値予報における気象衛星データの利用……………二宮洸三・多田一正
 第3節 熱帯気象への利用……………村上勝人
 第4節 モンスーン研究への利用……………安成哲三
 第5節 GMS から見た中緯度のじょう乱……………小花隆司
 第6節 GMS から見た低緯度のじょう乱……………清水喜允

第2章 海洋学への利用

- 第1節 海上風の推定……………磯崎一郎
 第2節 海洋学における衛星資料の利用
 —海面温度, 海色, 海流, 渦, 波浪—……………竹田 厚
 第3節 海水の観測……………赤川正臣

第3章 積雪水文学への利用……………石原健二

第4章 海洋環境……………落合弘明

第5章 林業への資源探査衛星データの利用……………大貫仁八

第6章 資源探査への利用……………駒井二郎

第7章 土地利用への利用……………下田陽久

配布価格

通常会員	3,800円	定期購読会員	3,600円
団体会員	5,800円	会員外	6,500円

日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
国際地球観測百年記念講演会	昭和58年3月15日	日本学術会議	日本学術会議
日本気象学会昭和58年春季大会	昭和58年5月18日～20日	日本気象学会	筑波研究交流センター
第20回理工学における同位元素研究発表会	昭和58年7月4日～6日		国立教育会館
第2回統計気候学国際会議	1983年9月26日～30日	WMO ほか	ポルトガル・リスボン